



## 人材育成・定着のための 「人事評価制度・教育体系」 活用・見直し研修

日時:令和7年10月7日(火)

9:30~16:30(2部構成)

午前(9:30~12:30)

「人事評価制度」の活用・見直し

午後(13:30~16:30)

「教育体系」の活用・見直し

労働力人口の減少により新規採用が困難な時代、また、売り手市場で転職が当たり前となった現在、いかにして既存人材を定着させ、育成をして戦力化していくかは、今や重要な経営課題となりました。

このような背景から、この度の研修では、現状の人事評価制度や教育体系を、今後求められる人的資本の形(人材を資本と捉え企業価値を最大限に高める経営)に見直し、人材の育成や定着、ひいては採用に効果的な形に見直すためのポイントを学んでまいります。

人事評価制度と教育体系の活用・見直しの2部構成で実施し、単講でのご参加も可能ですが、人事評価と教育体系は「社員の成長を支える両輪」であるため、「制度のつながり」を実感でき、より実践的な改善策を持ち帰ることができる両講の受講をおすすめいたします。

社員の納得感を高め、意欲ある人材の定着・活躍を促す制度設計のヒントを得る機会として、当研修をぜひご活用ください。

このような課題に対し効果的です！

### 「人事評価制度」に関する課題例

- 評価制度が形骸化しており、年に数回の形式的な運用にとどまっている
- 評価制度が従業員のモチベーションやエンゲージメント向上に繋がっていない
- 評価制度をすぐに大きく変えるのは難しいが、何か改善の糸口が欲しい

### 「教育体系」に関する課題例

- 人材育成の方針や基準があいまいで、個人任せ・現場任せになっている
- 部署ごと・職種ごとの役割や必要な行動が整理されていない
- キャリアパスや研修体系を整備したいが、どこから手をつけてよいかわからない

ワーク  
ショップ  
付き

■講 師 株式会社 インソース シニアコンサルタント 飯田 健司 氏 (いいだ けんじ)

■会場・定員 ソニックスシティ 601 各講 40名(先着順)

■対象 人事担当者(制度設計・教育)、経営幹部・マネージャー、事業部門長・現場リーダー

■参加費 <会員> 単講 6,600円 全講 12,100円(1,100円割引) ※消費税10%込  
(請求書発行) <非会員> 単講 19,800円 全講 39,600円 ※消費税10%込

■申込方法 右記QRコード、本会HPからのお申込み、下記申込書にてFAXでお申込みください



FAX 048-641-0924(埼玉県経営者協会宛) 人事評価制度・教育体系の活用・見直し研修 参加申込書

貴社名	TEL	参加希望
所属・役職名	氏名	メールアドレス
		<input type="checkbox"/> プログラム1 □2
		<input type="checkbox"/> プログラム1 □2
		<input type="checkbox"/> プログラム1 □2

【担当】町田(048-647-4100) [machidak@saitamakeikyo.or.jp](mailto:machidak@saitamakeikyo.or.jp)

## プログラム1 「人事評価制度の活用・見直しを考える」

※随時グループワークを実施

時間	内容
9:30	<p>1.なぜ今、評価制度がうまく機能しないのか？</p> <p>2.評価制度の本当の役割を見直す</p> <ul style="list-style-type: none"><li>評価制度の目的</li><li>評価制度がもたらす影響</li><li>評価制度をいかすための視点転換</li></ul> <p>3.評価制度は大きく変えなくてもいい</p> <ul style="list-style-type: none"><li>経営・人事戦略に基づいた「人材要件」「評価項目」の再定義</li><li>制度設計よりも大事な“運用”的質</li><li>事業部門が評価制度を自分ごと化する工夫</li></ul> <p>4.評価制度を“活かす”アプローチ</p> <ul style="list-style-type: none"><li>経営理念や戦略を評価項目に落し込む</li><li>SDGs・ESG・コンプライアンスと評価の連動</li><li>評価を人材育成とつなげる仕組み(スキルマップ・教育体系との接続)</li></ul> <p>5.現場で実践されている取り組み事例</p> <ul style="list-style-type: none"><li>理念・戦略に基づいた評価項目の見直し事例</li><li>評価結果を教育体系に反映した育成設計事例</li><li>フィードバック力を高める評価者トレーニング事例</li></ul>
12:30	

休憩

## プログラム2 「教育体系の活用・見直しを考える」

※随時グループワークを実施

時間	内容
13:30	<p>1.人事制度・教育体系が現在見直される主な背景</p> <ul style="list-style-type: none"><li>①評価の項目の適正化</li><li>②従業員にとってのキャリアの可視化</li><li>③若手の早期離職防止</li><li>④リスクリングの促進</li></ul> <p>2.効果的な教育体系ツール～人材要件表、キャリアパス、研修体系図、スキルマップ</p> <ul style="list-style-type: none"><li>人事制度の全体像</li><li>教育体系ツールの紹介<ul style="list-style-type: none"><li>①等級役割定義(全社、各部署統一の役割定義)</li><li>②人材要件表(部署別の人材要件定義)<ul style="list-style-type: none"><li>・求められる人材要件(コンピテンシーとスキル)と人材要件表の作成 【ワーク】自部署のコンピテンシーを具体化する</li></ul></li><li>③課業一覧表(力量評価表、スキルマップ)</li><li>④キャリアパス</li><li>⑤研修体系図</li></ul></li></ul>
16:30	3.育成ツールワークショップ

講師プロフィール 飯田 健司 氏 (いいだ けんじ)

東証プライム上場 IT コンサルティング会社と子会社にて、約 20 年間人材教育、人事、管理部門、及び営業やシステムサービスに従事。その後、東証プライム上場旅行サイト比較会社の人事部長として、人事諸制度・人事評価の見直し・運用、採用・研修の企画・実施等に従事。2020 年(株)インソースに入社。様々な顧客の多種多様な研修、研修管理・評価システムの導入を支援。

